



夏休みを前に…



校長 瀧澤 優子

明日、前期前半の最終日を無事に迎えることができそうです。

これも日頃より、保護者の皆様・地域の皆様のご理解、ご協力に支えられております故のことと思っております。改めて感謝申し上げます。加えて、先日は夏休み前の個人面談へのご協力ありがとうございました。

31年度(令和元年度)もスタートして、早4ヶ月!!私にとりましては、中和田小をしっかりと感じる貴重な日々でした。「子ども一番に着実な歩みを大切にしたい。」そう思い、過ごして参りました。日々、子ども一人ひとりの心豊かな生活を大切に、目の前を待たなしに生きる子どもをしっかりと捉え、当たり前前を当たり前前にできることのよさを価値付け、またそうできる幸せを感じながら、力及ばずとも心を込めて取り組んできました。何にもない日は一日たりとも無かったけれど・・・子どもの何気ない「楽しい!」「嬉しい!」「ありがとう!」「教えて!」「やりたい。やってみたい」「もっとこうしたい。」「さようなら。また明日～」などの言葉と一生懸命な輝く表情や姿にどれだけ励まされたことでしょうか。子どもがいてくれるだけで、『いろいろあるのは、生きている証・・・』そんな前向きな気持ちになります。子どもは宝です。こんな気持ちで、夏休みを迎えられることに感謝です。

さて、こんな話を聞きました。ある日、「友達と遊ぶんだ。」とランドセルを置くやいなや、冷たい飲み物をゴクリ・・・外に飛び出した〇〇さん!しばらくすると、元気なく帰ってきました。「みんな、ゲームしていた。つまらないから帰ってきた。」というのです。きっとゲームの楽しさは格別なものがあるのでしょうか。放課後の遊びは自由だし、何をしなくちゃいけないという縛りがあるわけでもないし、仲よく遊んでいるのだから・・・なのですが、(公園で待ち合わせしたのに、ベンチでゲーム機器で?) (ゲーム機器を介しての友達との対戦も関わりと言えば関わり?) (ゲーム機器を持ってないと対戦もできないし遊べない?)とも思います。決して様々なゲーム機器を批判しているわけではなく、純粹に公園・屋外だからこそ遊びに夢中になって遊んではどうかしら・・・と何十年も前の我が子ども時代を思い出しました。鉄棒・遊具・おにごっこ・ドロけい・ひまわり・だるまさんがころんだ・かんけり・なか当て・ドッジボール・キャッチボール・めんこ・ベーごま・・・など、時間が経つのを忘れて遊んでいました。今のように進化したゲーム機器はなく(あったのかもしれないが、我が家には無かった)、あったのは自力でサイコロを振って、自分のコマを動かすようなすごろく系のボードゲームや野球版型ゲームだった気がします。時代が違うので比べることはできませんし、比べるものでもありませんが、あの頃確かに、そこには、友達がいて、いっぱいしゃべって、たくさん動いて汗かいて、腹抱えて笑い、時に怒り、時に泣き、人と関わり、心動かし、「遊びを通してこそ」の学びがありました。人 こと ものとのかかわりの中で生きる力を蓄えてきたように思います。時代が違うと言われてしまえば、ここから先が述べられませんが、外でならやはり外でしかできない遊びに夢中になってほしいし、友達と心底関わって、遊んでほしいなあとも思います。今や「ゲーム依存症」という病名までつく時代。それほど魅力あるゲーム。確かな開発者の力。ゲームを楽しむ自由。年齢問わず、場所をとらずに楽しめるスマホゲーム。スマホは手放せない。スマホがないと不安・・・『それが今であり、その今を生きている。生きていく。』と、淋しげに帰宅した〇〇さんの様子や姿、心を想像し、『今』を考える機会になりました。そして、明後日から始まる夏休み!改めて、この夏休みならでは!我が家ならでは!友と一緒にならでは!その場ならでは!その時ならでは!私ならでは!を大切に出来たらいいなあとも思いました。

子どもたちが、夏休みならではの学びで大きく成長することを願っています。すてきな夏休みを!!

例年になく冷夏・・・お天気にも恵まれず、今のところ、予定通りの水泳学習が実施できていません。そこで、プール納めを一週間後(9/17)に伸ばす可能性を含んで検討しております。ご理解ご協力をお願いいたします。